

林材業における労働災害の現状

(主として厚生労働省の報告によるもの)

平成22年12月22日

(1) 労働災害発生状況

(単位:人)

区分		年							
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
林業	死傷	2,572	2,392	2,171	1,972	2,080	2,073	2,128	1,332
	死亡	61	46	47	57	50	43	43	55
木材製造業	死傷	3,093	2,751	2,590	1,960	2,315	2,060	1,719	1,026
	死亡	21	11	16	11	8	16	10	6

資料:平成22年における労働災害発生状況(速報)及び死傷災害基礎データ(労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)より作成)「厚生労働省HPより」

- 注: 1. 林業、木材製造業のH22死亡者数は、速報値(平成22年12月7日現在)
 2. H22林業(速報): 死亡(前年同時期比較 16人増)、死傷(前年同時期比較 16人増)
 3. H22木材製造業(速報): 死亡(前年同時期比較 3人減)、死傷(前年同時期比較 50人減)

(2) 度数率(事業所規模別)

区分		年							
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
事業所規模 30~99人	全産業	3.40	3.89	3.34	2.95	3.14	3.14	2.88	
	林業	44.55	46.22	46.32	33.52	15.55	22.52	15.59	
	木材製造業	7.43	7.13	9.04	8.77	9.07	2.07	6.56	

資料:厚生労働省(労働災害動向調査)

注:度数率とは、100万延べ時間当たりの労働災害による死傷者数をもって、災害の発生頻度を表したもの(度数率=労働災害による死傷者数÷延べ実労働時間数×1,000,000)。

(3) 強度率(事業所規模別)

区分		年							
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
事業所規模 30~99人	全産業	0.36	0.18	0.32	0.14	0.30	0.24	0.25	
	林業	1.49	1.94	1.73	0.71	1.20	0.72	1.82	
	木材製造業	1.57	0.22	0.27	0.34	0.17	0.24	0.42	

資料:厚生労働省(労働災害動向調査)

注:強度率とは、1,000延べ労働時間当たりの労働損失日数を持って災害の重さの程度を表したものの(強度率=労働損失日数÷延労働時間数×1,000)。

(4) 死傷年千人率

区分		年							
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
全産業		2.7	2.6	2.6	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3
林業		27.6	27.7	29.7	27.7	26.8	26.3	29.5	29.9
木材製造業		10.8	9.6	10.2	10.1	9.9	9.3	9.2	8.3

資料:労働者災害補償保険事業年報と災保険給付データ(安全衛生情報センターのHPより)

注:年千人率とは、労働者1,000人あたり1年間に発生する死傷者数(休業4日以上)を示すもので、
 (千人率=1年間の死傷者数(休業4日以上)÷1年間の平均労働者数×1,000)で表される。